

令和7年度 事業報告

公益財団法人 熊本県総合保健センター

目 次

1 総括	P1
2 収支報告	P1
3 令和7年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて	P1
(1) 基本戦略	
(2) 事業戦略	
(3) 新センター建設	
4 保健事業実績	P5
(1) 地域保健	
(2) 職域保健	
(3) 学校保健	
(4) 特定保健指導	
(5) 精度管理	
5 普及啓発活動	P11
(1) 自主事業	
(2) 支部事業	
(3) 協力事業	
6 健康経営（SOUHO革命）	P14
7 受託事業	P14
8 研究・調査事業協力	P16
9 学会発表等	P16
10 設備投資	P16
11 その他	P17
(1) 熊本県集団検診機関連絡会	
(2) 熊本県胃検診推進協議会	
(3) 主な行事	
(4) 学会・研修会等参加状況	
附属明細	P20

1 総括

令和7年度の事業実績については、地域保健は239,211人(前年度比101%)、職域保健は109,440人(前年度比100%)、学校保健は22,049人(前年度比114%)となり、合計は370,700人(前年度比101%)となった。

地域保健では、巡回・施設健診ともに令和6年度と同程度であったが、がん検診では、胃がん検診、乳がん検診及び子宮頸がん検診の減少が大きくなった。

職域保健では、巡回健診で新規事業所の獲得により生活習慣病コースが増加した。施設健診では、協会けんぽ一般健診以外は減少となった。

特定保健指導については、巡回・施設健診ともに減少し、特に巡回職域健診において減少が大きくなった。

また、「熊本県健康増進計画(第5次くまもと21ヘルスプラン)」及び「第4次熊本県がん対策推進計画」など県の健康づくり施策と連携し、生活習慣病予防のための特定健康診査や保健指導、各種がん検診、普及啓発活動を実施することにより県民の健康づくりに寄与することができた。

2 収支報告

事業活動収入	2, 2 4 7 百万円 (収支計画	2, 2 4 1 百万円)
事業活動支出	1, 9 8 6 百万円 (収支計画	2, 1 6 2 百万円)
事業活動収支差額	2 5 3 百万円 (収支計画	7 8 百万円)
投資活動収入	2 0 0 百万円 (収支計画	3 7 1 百万円)
投資活動支出	6 5 5 百万円 (収支計画	3 9 9 百万円)
当期収支差額	△ 2 4 2 百万円 (収支計画	8 百万円)
次期繰越収支差額	6 5 4 百万円 (収支計画	4 7 7 百万円)

3 令和7年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて

(1) 基本戦略

総務部において、経営基盤確立のため、生産性向上、人材力強化の2つの戦略に取り組んだ。

生産性向上の取り組みとして、労務管理の効率化を目的に勤怠管理システムを導入した。令和8年度に運用上の課題を整理、改善し、給与システムと連動し更なる事務効率化を図る。

人材力強化の取り組みとして、各種資格取得に係る助成制度を充実させるとともに、健診ニーズに対応するため育成が急がれる超音波検査士の育成方針を策定した。

また、非常勤職員の賃金について、最低賃金の改定額以上の見直しを実施し、

人材確保に努めた。

(2) 事業戦略

① 健康管理部

新センター建設に向けた I T 化・D X 化推進の事前取り組みとして、サーバー室における発熱量、各室に必要なネットワーク選定、PC 配置の各調査および HUB 配置の確認を行った。

また、健康分野のシステム・機器等の展示会（モダンホスピタルショウ）で最新動向の情報を収集するとともに、各室の要望整理及び優先順位設定に向けた検討を実施した。令和 8 年度は、全体最適化のための調整、導入スケジュールの管理に努める。

健診データの活用と健康増進活動については、事業所における健診結果を団体ごとに分析し、健康課題を見える化した帳票を作成した。今後は、巡回健診部・施設健診部と連携をとり、事業所の健康課題の解決に向け帳票を活用し、特定保健指導の実施・精密検査受診等に繋がれるよう取り組んでいく。

特定保健指導については、新しいツールや支援方法等のマニュアルを作成するとともに症例検討やグループワークを行い、保健指導を実施する上での気づきや課題、改善策について共有した。

さらに各保険者や他健診機関との意見交換会を開催し、課題の共有や解決策の検討を行った。

支援完了者数の増加（中断率の減少）については、中断理由を検証のうえ、支援方法や支援回数を見直しを行い、令和 8 年度から実践していく。

精密検査の受診率向上については、精密検査受診状況調べにおいて未受診理由として、「異常を感じない」との回答が多かったため、受診勧奨通知について、「自覚症状なしでも受診して欲しい」旨を記載した内容に変更した。

今後も医療機関への照会など受診状況の把握に努めるとともに、精密検査受診の必要性を伝え、受診率の向上に向け、取り組みを継続していく。

なお、受診勧奨の 2 回実施を委託契約している自治体において、肺・胃・子宮頸・乳がんの精密検査受診率は 100% となった。

② 巡回健診部

収益体制の確立に向け、地域健診では受診者数の増加を目的として、自治体と連携し未受診者への電話およびハガキによる受診勧奨を実施するとともに、チラシの作成・配布により受診機会の周知に努めた。また、日程変更時や健診時に受診者へ追加検査を提案し、受診単価の向上につなげた。

ふるさと総合健診については、受診者数の増加に向け、受診状況の把握および課題整理を進め、コース内検査項目の見直し（胃なしコースの検討やオプション検査）等に着手した。

職域健診では、キャッシュレス決済によるオプション検査や婦人科健診の実施により、受診内容の充実を図り、収益向上につなげた。

健診運用の効率化では、一部で QR コードを活用した WEB 申し込みを導入し、手続きの簡素化と利便性の向上を実現するとともに、追加検査の申込機会の拡大につなげた。

さらに、超音波検査士の育成及び超音波検診車の拡充に伴う巡回体制の見直しと稼働効率の向上により、地域健診の日程短縮を含む実施効率の向上および新規開拓を推進した。

また、マイナ保険証による円滑な資格確認を行うための体制を整備するとともに、健診データ収集システムの更新により操作性および処理効率を改善し、業務効率化と利用者満足度の向上を実現した。

さらに新センター建設に伴い外部の代替駐車場を使用するため、スタッフの負担軽減のため検診車運行計画の調整を行った。

③ 施設健診部

受診者の満足度向上および業務効率化を目的に、WEB 予約の導入や新センターに向けた誘導支援システム、WEB 問診等に関する情報収集を進め、運用について課題整理を行なった。

WEB 予約システムを、令和 7 年 10 月より一部の事業所・健保組合を対象に運用開始し、予約対応など電話では 2～5 分/1 件かかるものが、WEB では約 20 秒で終了し、日程変更対応時間の短縮につながった。

しかし、利用率は、12.2% (36 名/295 名) と低水準であったため、今後は、ホームページ等で周知を図り、令和 8 度は対象を拡大し、利用促進を図っていく。

また、健診後のアンケート (人間ドック受診者 1,205 名のうち 1,098 名から回答 (回収回答率 91%)) において、スタッフ対応が丁寧である、健診の流れがスムーズで待ち時間が少ないなど満足度が高い回答がある一方、内視鏡の予約がとりにくい、待ち時間が長い、検査室への動線が悪いなどの意見があった。

運用・設備面については、新センター建設において、改善に向け引き続き運用等の検討を行っていく。

次に、収益向上取り組みについて、熊本市住民向けに市の補助を活用し、さらに腹部超音波検査を含む「熊本市トクトク健診コース」を新設し、25 名の受診があった。今後も熊本市住民向けに受診しやすい健診コースを提供していくとともに、未受診者への受診勧奨や広報活動の強化に努める。

最後に、協会けんぽ保健事業において令和 8 年度から人間ドックへの補助が拡大されることから「協会けんぽ補助ドック」を新設し、令和 8 年度からの実施を決めた。

(3) 新センター建設計画

建設工事期間中の受診者、スタッフ及び検診車両等の代替駐車場について、令和7年5月から九州財務局及び熊本市より用地を借用、7月に入札により豊工務店を駐車場整備工事施工者に選定、9月に工事を完了、10月より供用を開始した。

検診車庫を兼ねる訓練棟の解体工事について、令和7年7月に入札により星山建設工業を施工者に選定、令和8年2月に工事を完了した。

設計業務について、令和7年12月に佐藤総合計画・太宏設計共同企業体により工事費の積算が完了、令和8年2月に実施設計業務を完了した。

建設業者について、設計者の積算による工事費をもとに令和8年3月に入札を実施、松尾・松島特定建設工事共同企業体を施工者に選定した。

また、工事費について、自己資金及び肥後銀行からの融資により対応することについて、令和8年3月に開催された理事会で承認された。

4 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、令和7年度実績数は、以下のとおりである。

(1) 地域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
特定健康診査	23,745	23,638	△107	22,946	692	103%
ふるさと総合健診	8,035	7,961	△74	8,030	△69	99%
胃がん検診	13,050	11,974	△1,076	12,847	△873	93%
子宮頸がん検診	13,650	13,082	△568	13,569	△487	96%
乳がん検診	19,971	19,522	△449	20,007	△485	98%
肺がん検診	34,505	33,670	△835	32,235	1,435	104%
大腸がん検診	21,145	20,601	△544	20,088	513	103%
結核検診	40,425	39,053	△1,372	37,991	1,062	103%
骨粗鬆症検診	8,117	7,875	△242	7,810	65	101%
腹部超音波検診	36,246	31,237	△5,009	31,572	△335	99%
その他	12,173	12,549	376	11,545	1,004	109%
小 計	231,062	221,162	△9,900	218,640	2,522	101%

(達成率：96%)

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
特定健康診査	2,384	2,407	23	2,439	△32	99%
日帰りドック等	818	840	22	810	30	104%
胃がん検診	1,296	1,248	△48	1,234	14	101%
子宮頸がん検診	1,962	1,865	△97	2,054	△189	91%
乳がん検診	2,637	2,325	△312	2,572	△247	90%
肺がん検診	2,672	2,578	△94	2,601	△23	99%
大腸がん検診	2,342	2,313	△29	2,247	66	103%
結核検診	2,646	2,563	△83	2,579	△16	99%
その他	2,309	1,910	△399	1,996	△86	96%
小 計	19,066	18,049	△1,017	18,532	△483	97%

(達成率：95%)

地域保健	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	250,128	239,211	△10,917	237,172	2,039	101%

(達成率：96%)

(2) 職域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
法定外	4,105	5,153	1,048	4,176	977	123%
法定	11,960	10,107	△1,853	11,576	△1,469	87%
生活習慣病予防コース	4,350	5,749	1,399	3,972	1,777	145%
協会健保（一般）	4,265	4,394	129	4,337	57	101%
特殊健診	11,570	11,440	△130	11,459	△19	100%
特定健康診査	1,575	1,449	△126	1,509	△60	96%
結核検診	950	866	△84	940	△74	92%
胃がん検診	415	267	△148	266	1	100%
子宮頸がん検診	350	339	△11	309	30	110%
乳がん検診	690	393	△297	353	40	111%
大腸がん検診	4,050	4,263	213	4,128	135	103%
腹部超音波検診	1,460	1,210	△250	1,213	△3	100%
その他	7,420	7,678	258	7,181	497	107%
小 計	53,160	53,308	148	51,419	1,889	104%

(達成率：100%)

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
法定外	209	247	38	234	13	106%
法定	7,663	6,885	△778	6,966	△81	99%
生活習慣病予防コース	2,681	2,349	△332	2,519	△170	93%
協会健保（一般）	9,241	9,782	541	9,571	211	102%
協会健保（ドック）	3,017	2,849	△168	2,873	△24	99%
各種人間ドック	3,596	3,246	△350	3,493	△247	93%
特殊健診	2,935	3,076	141	3,544	△468	87%
特定健康診査	789	677	△112	744	△67	91%
結核検診	75	90	15	100	△10	90%
胃がん検診	308	212	△96	248	△36	85%
子宮頸がん検診	3,647	3,498	△149	3,561	△63	98%
乳がん検診	4,148	4,145	△3	4,190	△45	99%
大腸がん検診	606	509	△97	487	22	105%
その他	19,040	18,567	△473	19,088	△521	97%
小 計	57,955	56,132	△1,823	57,618	△1,486	97%

(達成率：97%)

職域保健	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	111,115	109,440	△1,675	109,037	403	100%

(達成率：98%)

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	5,880	6,691	811	6,459	232	104%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	-
胃がん検診	2,110	2,118	8	2,215	△97	96%
小 計	7,990	8,809	819	8,674	135	102%

(達成率：110%)

② 学生

(単位：人)

健（検）診項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	10,060	13,046	2,986	10,612	2,434	123%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	-
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0	0	-
尿・心電図・貧血・診察	140	194	54	38	156	511%
小 計	10,200	13,240	3,040	10,650	2,590	124%

(達成率：130%)

学校保健	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	18,190	22,049	3,859	19,324	2,725	114%

(達成率：121%)

～ 実績合計 ～

(単位：人)

巡回健（検）診	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	302,412	296,519	△5,893	289,860	6,659	102%

(達成率：98%)

(単位：人)

施設健（検）診	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	77,021	74,181	△2,840	76,150	△1,969	97%

(達成率：96%)

(単位：人)

総合計	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
	379,433	370,700	△8,733	365,533	5,167	101%

(達成率：98%)

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。
健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。
保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

〔地域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	498	489	△9	511	△22	96%
積極的支援	137	103	△34	132	△29	78%
合 計	635	592	△43	643	△51	92%

(達成率：93%)

〔地域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	184	213	29	217	△4	98%
積極的支援	65	44	△21	77	△33	57%
合 計	249	257	8	294	△37	87%

(達成率：103%)

〔職域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	105	97	△8	134	△37	72%
積極的支援	162	85	△77	224	△139	38%
合 計	267	182	△85	358	△176	51%

(達成率：68%)

〔職域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	829	861	32	820	41	105%
積極的支援	1,298	1,254	△44	1,293	△39	97%
合 計	2,127	2,115	△12	2,113	2	100%

(達成率：99%)

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	令和7年度 計画 A	令和7年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和6年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
動機付け支援	1,616	1,660	44	1,682	△22	99%
積極的支援	1,662	1,486	△176	1,726	△240	86%
合 計	3,278	3,146	△132	3,408	△262	92%

(達成率：96%)

(5) 精度管理

がん検診における精度管理のひとつとして、健診後の精密検査結果を把握し、集計統計から発見されるがんの数等を全国レベルと比較している。また、発見がんについては、「発見がん個票」を作成し、ステージや組織、分類等について追跡調査を行い、精度管理に努めている。なお、日本対がん協会へ報告を行った令和5年度におけるがんの実績は下表のとおりである。

		要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
肺がん検診	センター	0.24	87.29	18	0.04
	全国	1.91	77.79	1,315	0.05
胃がん検診	センター	1.95	64.35	12	0.03
	全国	4.72	78.54	1,425	0.09
大腸がん検診	センター	6.04	57.71	60	0.11
	全国	5.44	66.74	3,949	0.16
子宮頸がん検診	センター	1.87	85.33	2	0.01
	全国	1.37	81.90	121	0.01
乳がん検診	センター	4.63	90.06	100	0.32
	全国	3.99	89.56	3,315	0.30
総 数	センター			192	
	全国			10,125	

※1 全国実績については「令和7年（2025）度版がん検診年次報告書（日本対がん協会）」より記載

※2 胃がん検診の発見がん数には、内視鏡を含む

※3 子宮頸がん検診の発見がんは浸潤がんと腺がんの合計

がん検診のプロセス指標（許容値）

指 標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

また、外部機関評価は以下のとおりである。

①全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査分野	評価 A
	胃部 X 線検査分野	評価 A
	臨床検査分野	評価 A
	労働衛生検査分野	評価 A
	腹部超音波検査分野	評価 A
②結核予防会	胸部 X 線画像評価	判定 A
③熊本県臨床検査精度管理	臨床化学	判定 A
	免疫血清	判定 A
	血液	判定 A
	細胞	判定 A
	一般	判定 A
④日本医師会	生理	判定 A
	臨床検査精度管理	判定 A
⑤日本臨床衛生検査技師会	臨床化学	評価 A
	免疫血清	評価 A
	血液	評価 A
	細胞	評価 A
	一般	評価 A
⑥熊本県医師会	生理	評価 A
	標準化サーベイ	評価 A
熊本県臨床検査技師会	(第 108 回)	

5 普及啓発活動

当センターによる公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行った。また、講演会の実施や地域イベントへの参加などを通じ、広く県民へ健康づくりのための普及啓発を行った。

(1) 自主事業

① 地域保健研修会

【令和 7 年 11 月 5 日（水）熊本テルサ】

特別講演・トークセッション

テーマ「働きざかり世代の健康づくり・健診受診率の向上」

特別講演 「地域・職域連携による働きざかり世代の健康づくり」

大分県東部保健所 所長 藤内 修二 先生

トークセッション

取組み報告・意見交換

熊本県 健康福祉部健康局 健康づくり推進課

審議員 大川 加須美 氏

全国健康保険協会熊本支部 企画総務部

保健グループ長 大久保 貴史 氏

熊本県総合保健センター

巡回健診部 巡回企画室 落水 星香

報告事項 「食習慣改善に向けた「ベジメータ®」活用と行動変容の検討」

健康管理部 健康支援室 保健師 前 悠佳璃

「新センター建設プロジェクトについて」

総務部 新センター整備室 河添 健人

情報提供 「熊本県の健康をめぐる現状と健康増進の取組み」

熊本県 健康福祉部健康局 健康づくり推進課

参事 田嶋 佳乃 氏

② がん教育出前授業

県内中学生を対象に、がんについて正しい知識や情報、がん検診の必要性を理解することを目的とし、「がん教育出前授業」を行った。授業では、講和だけでなく、がんについてのクイズや健診機関で働く人の職場体験ブース、及び検診車見学、そうほくん出動を行った。また、大切な人（家族）へのメッセージカードを配布して、保護者世代や祖父母世代に「がん検診」の普及啓発を行った。

【令和 7 年 11 月 14 日（金）山鹿市立鹿本中学校】

【令和 7 年 12 月 16 日（火）山鹿市立菊鹿中学校】

【令和 7 年 12 月 19 日（金）多良木町立多良木中学校】

【令和 8 年 1 月 22 日（木）和水町立三加和中学校】

【令和 8 年 3 月 10 日（火）熊本市立湖東中学校】

③ 健康講話

健診を受託している事業所等より依頼を受け、セミナーを実施した。

【セミナー内容】

- ・メンタルヘルス対策
- ・時間栄養学を味方につけよう ～いつ・何を・どう食べる？～

（２）支部事業

① 複十字シール運動

複十字シール運動期間（８月１日～１２月３１日）に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会とともに募金活動を行った。なお、今年度の募金総額は、4,785,564円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

【令和 7 年 9 月 20 日（土） 菊陽町 ゆめタウン光の森】

全国一斉結核・呼吸器感染症予防週間及びがん征圧月間に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会熊本市支部及び熊本県の健康危機管理課・健康づくり推進課、熊本市の健康危機管理課・健康づくり推進課とともに、結核パネルや肺がんモデルの展示、結核予防に関する資料の配布、複十字シール運動募金や「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

また、からだスマイルコーナーでは、体組成測定やベジメータ測定会、健康相談を行った。

検診リーフレット・歯ブラシ等を配布し、検診受診の啓発を行った。

当センターマスコットキャラクター「そうほくん」との記念撮影には、子供たちが大勢押しかけていた。

③ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025 くまもと

【令和 7 年 5 月 10 日（土）11 日（日） 熊本市 白川公園】

当センターのブースで、がん検診のパネルやポスターを掲示し、「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

（3）協力事業

① ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

【令和 7 年 10 月 19 日（日）】

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のため、「10 月の第 3 日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー（JMSプログラム）」に賛同し、147 名の健診を実施した。

健（検）診毎の内訳は、乳がん検診 48 名、子宮頸がん検診 35 名、肺がん検診 86 名、胃がん検診 66 名、大腸がん検診 86 名、特定健診 54 名であった。

② テレビ出演等による普及啓発活動

テレビくまもと「てれくま医療情報室」（熊本県医師会へ協賛）

令和 7 年 9 月 10 日（水）「がん征圧月間」 村上 晴彦 医師

令和 7 年 9 月 17 日（水）「結核・呼吸器感染症予防週間」 村上 友佳 医師

③ 令和 7 年度「たまな健康食育フェア」

【令和 7 年 11 月 9 日（日）】

玉名市保健センターにて、当センターのブースでベジメータ測定会・検診受診啓発グッズの配布を行い、当センターマスコットキャラクター「そうほくん」も登場した。

④ 令和 7 年度東区民まつり「けんぐん食と健康まつり」

【令和 7 年 11 月 15 日（土）】

健軍商店街アーケードにて、当センターのブースでベジメータ測定会・「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

⑤ 菊池郡市薬剤師会 市民公開講座

【令和 7 年 11 月 23 日（日）】

菊陽町図書館ホールにて、当センターのブースで、肺がんや乳がんの模型、がん検診のパネルやポスターを掲示し、ベジメータ測定会・「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

6 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置いたプログラムを策定した。

今年度は「栄養」の面から冷凍食品セミナーを行った。「運動」では、通年で実施している歩数アップ大会やラジオ体操の他、フレイル予防に関するセミナーを行った。「睡眠」の面からは、眠りの環境相談会・睡眠の質を上げるためのセミナーを行った。

環境の改善としては、置き型社食・ベビーリーフ販売・SOUHOカフェ・マルシェを設置し、継続的な野菜摂取の促進や職員が手軽に軽食等を購入できる環境整備を行った。今年度は新たに体組成計測定・ベジメータ測定・自己血糖測定を実施し、自分の健康状況を知るための環境整備を行った。

また、経済産業省の健康経営優良法人認定制度(大規模法人部門)において「健康経営優良法人 2026」の認定を受けた。

さらに、子育て世帯が安心して子育てと仕事の両立ができる企業として、熊本市子育て支援優良企業の認定を受けた。

7 受託事業

熊本県より受託した以下の事業を行った。

(1) 全国がん登録事業

熊本県からの受託事業である「がん登録事業」は、県内の医療機関の協力により、全国がん登録に係るデータ 22,661 件、地域がん登録に係るデータ 38 件を受理し、国に設置されたデータベースへの登録を行った。それに付随して 2022 年、2023 年の病院別に実施する遡り調査を 625 件実施した。

また、各医療機関から提供されたデータを対象に、がんに係る調査研究目的のため申請があった 7 機関に 50,360 件の予後情報の提供を行った。

(2) 国保ヘルスアップ支援事業

令和 5 年度より熊本県から受託している「県国保ヘルスアップ支援事業『二次医療圏等の保健事業支援事業』業務」については下記のとおり取り組んだ。

① 働き盛り世代への健康支援

商工会や個人タクシー協会で研修会を開催し、健康経営や健診受診の重要性等を啓発した。また、4 つの保健所と連携し、商工会や食品衛生協会の講習会、JA や農業者クラブなどの集まりの機会を利用しセミナーを実施した。セミナー参加者にはアンケート調査を実施し、行動変容や意識づけの有無につ

いて確認したが、回答者の約 94%が「生活習慣を見直そうと思った」と回答する等、一定の成果が確認された。なお、研修会及びセミナーを実施したのは 6 か所 225 名であった。

② 二次医療圏毎の市町村支援

県保健所 10 か所全てに各 1 回以上のヒアリングを行い、圏域の現状と課題、市町村支援の取組状況等の聞き取りを行った。

また、市町村及び保健所職員を対象とした「スキルアップ研修会」を開催し、延べ 183 名（オンデマンド視聴、オンライン相談会含む）の参加があった。

「ソーシャル・マーケティング」について基本理解から企画立案、実践・振り返りまでを段階的に学び、実践への定着を図る構成とし、参加者の 93%が「今後の業務に活かそう」と回答した。

③ モデル市町村における ICT を活用した糖尿病発症予防の取組みの実施

合志市、天草市、玉東町の 3 市町をモデルとし、間歇スキャン式持続血糖測定器（以下、「リブレ」という。）を用いた糖尿病発症予防事業を実施した。モデル市町の参加者は延べ 79 名で、アンケート調査では「全く運動しない」と答えた者が事前 41%から事後 3%と大きく減少するなど行動変容につながった。

（3）全国健康保険協会熊本支部受託事業

本事業では、協会けんぽ熊本支部から健康づくり出前講座および健康経営サポート事業を受託した。

健康づくり出前講座事業については、健康宣言をしている事業所を対象に、出前講座では対面もしくはオンラインの健康セミナーを開催し、健康経営サポートでは、事業所と一緒に健康課題を考え、それを解決するための計画作成のサポートを実施した。

① 健康づくり出前講座

15 テーマの中から最大で 2 テーマまで選択可能とし、60 分（1 テーマ）の講座では、グループワークやケーススタディ等を取り入れ、受講者参加型のセミナーを実施した。

また、令和 7 年 6 月から令和 8 年 3 月の 9 か月間で、30 分講座 31 件、60 分講座 112 件の合計 143 件の講座を実施し、受講者に対しアンケート調査を実施した結果、満足度・理解度はいずれも 9 割以上となり、従業員のヘルスリテラシー向上に寄与した。

② 健康経営サポート

入門コースと推進コースに分け、26 事業所の健康経営計画作成のサポートを実施した。入門コースでは、事業所カルテ等を活用し、健康課題の把握や抽出から課題解決のための計画作成を支援し、推進コースでは、他事業所の事例集などを用いながら、課題解決のための計画作成の支援をおこなった。

8 研究・調査事業協力

国及び研究機関等が実施する研究・調査事業への協力を行った。

- (1) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験 (J-START)
- (2) 独立行政法人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究
- (3) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究
- (4) 環境省子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)
- (5) 熊本大学胃X線画像を用いた異常検出AIシステムの開発研究

9 学会発表等

- (1) 2025 年度日本産業衛生学会九州地方会学会 (令和 7 年 11 月 7 日沖縄県)
「食習慣改善に向けた「ベジメータ®」活用と行動変容の検討」
保健師 前 悠佳璃

10 設備投資

- (1) 新施設建設関連
 - 新センター設計業務 124,300千円 自己資金
 - 外部駐車場等整備工事 19,532千円 自己資金
- (2) 車両関連
 - 乳房X線診断装置搭載車1台 56,430千円 自己資金
- (3) 機器関連
 - 超音波診断装置 3台 10,850千円 リース
 - ドライシーラー (紙圧着機) 1台 2,178千円 自己資金
 - 自動体外式除細動器 (AED) 6台 1,650千円 自己資金
 - パルスオキシメーター1台 298千円 自己資金

(4) 電算関連

巡回健診システム（ハード・ソフト）	39,138千円	リース
巡回健診システム要件定義・外部設計	3,300千円	自己資金
巡回健診システム連携	3,410千円	自己資金
健診システムパソコン 6台	1,518千円	自己資金
協会けんぽ制度改正対応	990千円	自己資金
特定保健指導実施報告書帳票変更	286千円	自己資金

1 1 その他

(1) 熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内 10 ヶ所の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に例年 2 回の定例会を開催している。本年度は令和 7 年 7 月 4 日（金）に定例会を熊本市において、令和 8 年 2 月 27 日（金）に定例会及び専門部会を熊本市において開催した。

(2) 熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と健診業務等の円滑な推進を目的に研修会を開催した。

① 令和 7 年 9 月 13 日（土） 熊本市

「大腸癌対策の現状と課題」

熊本大学病院 総合臨床研究部 研究倫理センター 特任助教 本田 宗倫

② 令和 8 年 3 月 23 日（月） 菊池市

「胃がん検診の現状-症例から学ぶ内視鏡診断」

熊本県総合保健センター 副所長 村上 晴彦

③ 令和 8 年 3 月 24 日（火） 八代市

「ピロリ菌陰性時代の胃内視鏡検診」

済生会熊本病院予防医療センター センター長 満崎 克彦

(3) 主な行事

月	日	名 称	場所
4	1	職員採用辞令交付式	熊本市
5	10・11	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025	熊本市
	13	臨時理事会	熊本市
	22	臨時評議員会	熊本市
	19	令和6年度に係る事業及び会計監査	熊本市
6	2	第1回理事会	熊本市
	20	定時評議員会	熊本市
7	4	第1回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
8	21	職員採用試験（一次試験）	熊本市
9	18・19	日本対がん協会 がん征圧全国大会	兵庫県
	20	ヘルシーデイ（結核・呼吸器感染症予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン）	菊陽町
	26・30	職員採用試験（二次試験）	熊本市
11	5	地域保健研修会	熊本市
	28	結核予防会・日本対がん協会 九州・沖縄各県支部合同会議	大分市
12	26	臨時理事会	熊本市
	26	仕事納め式	熊本市
1	5	仕事始め式	熊本市
	8	安全祈願式	熊本市
2	2	定期人事異動辞令交付式	熊本市
	6	全衛連九州地方協議会	宮崎県
	27	第2回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
3	19	第2回理事会	熊本市
	17・18	第77回結核予防全国大会	愛媛県
	27	創立記念日・永年勤続者表彰	熊本市
	31	職員退職辞令交付式	熊本市

(4) 学会・研修会等参加状況

月	日	名称	場所
4	1	2025年度胃X線読影判定講習	WEB
4	11	令和7年度健康運動指導士養成講習会	福岡県他
4	18	第122回日本内科学会総会・講演会	大阪府
5	9	第109回日本消化器内視鏡学会総会	北海道
5	10	第82回九州連合産科婦人科学会第76回九州ブロック産科婦人科医会	WEB
5	16	第125回日本消化器病学会九州支部例会・第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県
5	23	第77回日本産科婦人科学会学術講演会	岡山県
6	5	日本がん登録協議会第34回学術集会	愛知県
6	20	日本超音波医学会第98回学術集会及び第24回教育セッション	WEB
6	29	第10回胃がん検診専門技師研修会	WEB
7	3	お客様の懐に入るコミュニケーション術	福岡県
7	4	第64回日本消化器がん検診学会総会	WEB
7	14	第66回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	WEB
8	22	第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会	京都府
8	29	心とからだの健康づくり指導者等のための実務向上研修	福岡県
9	24	頭と心で学ぶ思いやリーダーシップセミナー	福岡県
9	27	第54回日本消化器がん検診学会九州地方会	大分県
10	4	第61回マンモグラフィ読影講習会	愛知県
10	7	段取り力強化セミナー	福岡県
10	7	令和7年度熊本県産業安全衛生大会	熊本市
10	10	第85回細胞検査士教育セミナー	WEB
10	10	第87回日本血液学会学術集会	兵庫県
10	15	声の出し方・話し方セミナー	福岡県
10	15	第37回関東甲信越地方会学術集会及び講習会	WEB
10	16	高齢労働者を戦力化！健康経営セミナー	WEB
10	18	第34回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	WEB
10	22	令和7年度高齢者雇用推進セミナー	熊本市
10	25	第58回細胞検査士資格認定試験	大阪府
10	30	JDDW2025神戸	兵庫県
11	1	医療情報基礎知識検定試験	福岡県
11	6	中災防心理相談専門研修	福岡県
11	7	2025年度日本産業衛生学会九州地方会学会	沖縄県
11	23	第40回超音波検査士認定試験	大阪府
11	29	第88回九州消化器内視鏡学会	大分県
12	2	2025年室内環境学会学術大会	福岡県
12	4	全衛連健診機関職員研修会基礎コース	東京都
12	13	第12回乳房超音波技術講習会	東京都
12	20	健康経営エキスパートアドバイザー知識確認テスト	熊本市
1	5	超音波スクリーニング研修講演会2025東京	WEB
1	23	日本総合健診医学会第54回大会	神奈川県
2	6	営業マネージャー研修	東京都
2	10	超音波診断講習会(消化器)2026	WEB
2	14	第41回熊本県臨床細胞学会学術集会・総会	熊本市
3	12	糖尿病予防対策関係者研修会	熊本市
3	19	第96回日本衛生学会学術総会	栃木県
3	21	第2回京都乳房超音波技術講習会	京都府

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 6 月

公益財団法人 熊本県総合保健センター